

令和3年度 第3回 役員会議 議事録

令和4年1月31日

新型コロナ感染拡大防止として書面決議

【令和3年度活動計画について報告】

①法務について

・布施の金額一覧 会報/HP掲載のご報告

HPに「布施金額一覧」を掲載し、その旨を令和3年12月発行の「法輪寺便り」にてご報告いたしました。その後、周知させるために葬儀や法事の応対の際、参考資料として檀信徒に配布しております。布施が可視化された上に役員会議で話し合われていることで檀信徒から安心感があるとの感想を頂いております。

・回忌法要の通知案内再開のお知らせ

客殿工事も終わり、法事の控室をご利用いただける様になりましたので1月より回忌法要の通知を積極的にお送りしております。以前は簡単な葉書で済ませておりましたが、料金形態などを明記・リモートでの対応など皆様に選択の幅が広いご案内を送付致したいと思っております。

・客殿工事竣工の経過報告

11月に竣工した客殿ですが、運用してみてお年寄りへの配慮が足りていないことがわかりました。2月に手すりを補強する様な工事を行いたいと思っております。また、法事などでご利用される檀信徒の反応は大変良いもので自身が檀家を勤める寺が綺麗になっていくことに前向きなご意見を頂いております。

・物価高騰の影響について

塔婆の原価料が500円→700円となりました。さらに高騰する気配があります。法輪寺として現段階で塔婆料を値上げする意向はありません。コロナ禍で“リモート供養”を周知させたことにより塔婆の申し込みが少しずつ増えております。今後も工夫し、より多くの塔婆申し込みを頂けるよう努力してまいります。

②対外事業について

・メディアへの露出について

11月6日に日テレ「ぶらり途中下車の旅」に出演いたしました。この反響は非常に大きくTV出演直近の土日は300名ほどの参拝客で境内は溢れ返りました。

1月には日テレ「news every」のコーナーに出演予定で、既に収録を終えております。放映日は未定ですが、花手水が注目を浴び対外事業の御朱印とうまく結びつくことが出来ると思います。

・WS（ワークショップ）関係

ヨガ教室は11月より本堂を会場に毎週水曜日に実施。写経会は12月より客殿を会場に毎週水曜・土曜日に実施しております。法輪寺は『観光名所』ではありませんので豪華な境内ではありませんが、身近な憩いのスポットとして活気のあるお寺を目指したいと思っております。現在、ヨガ教室には法輪寺便りを読んだ檀信徒の方2組（3名）が通って下さっております。

・御朱印関連

12月の冬至より法輪寺向かいの穴八幡神社が混み出します。この影響で法輪寺の御朱印も過去に類を見ないほど参拝客が殺到し、大変好評でありました。そして、12月の御朱印の収入は過去最高でありました。来年度は擁壁工事も控えておりますので多くの事業収入が得られる様に益々励んでいきたいと思っております。

【審議事項】

①初めに

昨年の役員会議で協議した布施と年会費の価格改定については、新年の役員会議開催が対面で行えず十分な議論が行われていない点から来年度の審議事項として設けさせて頂きま
す。

②改修事業について

・擁壁工事について ※参考資料 A-①参照

12月に一部土砂が崩れ落ちてしまいました。大きな被害はなく大事にはなりませんでしたが、安全面から急用課題として住職判断で工事を進めたいと思っております。

“現在分かっている点”

- ＞区からの助成金がおりにないこと。
- ＞区からの業者の斡旋はできないこと。
- ＞業者の選定が難しいこと。

“現在検討している点”

- ＞客殿工事を請け負った工務店に相談し、業者の選定に手を貸りております。

・花手水（はなちょうず）について ※参考資料 B-①参照

こちらは当初計画になかった部分ですが、昨年11月～本年1月と2度にわたってTVに取り上げられたものですので、今伸ばすべきところと判断し来年度の事業計画に組み込みました。将来的には納骨墓としての運用することも視野に入れ、積極的に花手水の設備を拡充させたいと思っております。

③来年度活動計画について

- ・以下の案をご参照ください。

～令和4年度活動計画について（案）～

〈年中行事について〉

- ・昨年同様に春季・秋季彼岸法要の有人での開催はしない。その上で塔婆供養の申し込みを募る
- ・10月22日の御会式はもともと参加人数が少なかった点から安全面を考慮した上で有人開催で実施する。御会式では塔婆供養の申し込みを募らず“新盆”の方に限定して日蓮様への御供養をお願いする。

〈法務全般について〉

- ・回忌法要・納骨法要は資質向上の観点から引き続き副住職が担当。
- ・回忌法要の事前通達の再開。
- ・檀信徒への管理体制をデジタル化に移行する。

〈改修事業について〉

- ・隣の龍泉院と面している崖の擁壁工事。安全面を優先し、住職の判断で適宜進める。

〈対外事業について〉

- ・都内随一の花手水を楽しめる寺院として認知させる。
- ・御朱印事業は月150万円以上の収益をあげ法輪寺の経営基盤の底上げに努める。

〈役員会議について〉

- ・役員の皆様のほか、令和3年度内に“新盆”になった方にも役員会議の案内を送る。
- ・会議の主な内容は布施と年会費の価格の見直しなど。
- ・布施に関する取り決めを規約に明記する。
- ・来年度の役員会議は6月・10月・1月の3度の開催を予定。
- ・あらかじめ中止になる場合も想定した上で案内を出す。

〈その他〉

- ・新たな年会費封筒の作成・配布（年度始め4月頃を予定）
- ・法輪寺だより夏号に令和3年度護持会会計報告を記載

④その他

前回の会議の際、年中行事の塔婆申し込みは年1回の案内に出来ないかと私が提案しましたが、その後に考えが改まりました。

この発案の起点は「通信費の経費を下げられないか」という点でありましたが、いつしか「私どもの事務管理を楽にしたい」という点に思考がすり替わり会議の場に相応しくない提案をしてしまいました。この考えは誤りであったとし謝罪いたします。誠に申し訳御座いませんでした。この件は従来通りその都度案内を送付させて頂き、塔婆など供養を募らせて頂きたいと思います。

⑤最後に

今回の年末年始は過去にない忙しさで各種対応に追われる日々でした。そのために本書類の作成に時間がかかってしまいました。本年度内で終わらせたかった事案も一部来年度に持ち越しになってしまいました。コロナで右往左往させられる中、法輪寺を成長させることは難しいと実感する日々です。

来年度は“新益”の方を招いての会議が始まります。初めての試みでありますので、一層に準備した上で会議に臨みます。役員会の皆様におかれてはお力添え頂けると幸いに思います。

参考資料

A -①「龍泉院隣接地 崖崩落の様子」（龍泉院側から撮影）

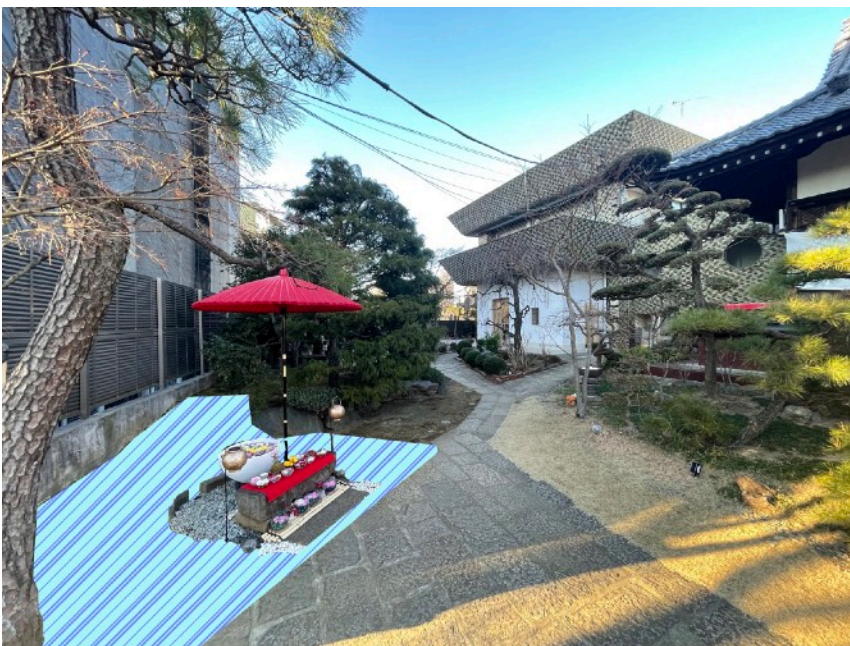


◀左の写真の通り土砂を支えていた木が腐り大雨の翌日土砂が崩れてしまいました。

腐った木は落下せずにフェンスに支えられたので大事にはなりませんでした。

地面の様子は分かりませんが同じ土壌である以上、他の部分も似た状態になっている可能性が高く早急に擁壁工事に取り掛かる必要がございます。

B -①「都内最大の花手水設置予定地」



◀この斜線部に都内最大の花手水を設置する予定です。

現在法輪寺はもともとの御朱印の認知度や立地条件から“花手水”への注目が集まっております。

そこで“都内最大級”を冠した花手水を設置し、より多くの注目を集めるつもりです。

花手水による影響はいつまで続くかは分かりませんが、数年後には花手水を正面に掲げた納骨墓（ペット墓の案もあります）を建立し、もともとの知名度を

活かし、広告を出さずに多くの利用者を獲得することに期待しております。

このスペースはいわゆるデッドスペースでしたので綺麗にすることで寺の景観が一層良くなります。その上、現在墓地の需要が減っておりますので、従来の墓以外での納骨方法を提案～運用し、将来のノウハウにつなげたい狙いがあります。